



平成28年4月7日

各位

会社名 株式会社ワンダーコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 日下 孝明
(JASDAQ・コード番号: 3344)
問合せ先 取締役管理部長 塚田 英雄
(TEL: 029-853-1313)

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成28年2月期におきまして、特別利益及び特別損失を計上するとともに、平成27年12月3日に公表いたしました業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

平成28年2月23日付をもって連結子会社である株式会社新星堂を吸収合併したことに伴い、平成28年2月期において、連結財務諸表上、負ののれんとして特別利益を計上いたしました。

①発生した負ののれんの計上額

4億23百万円

②発生原因

吸収合併時の時価純資産の持分が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれんとして認識しております。

2. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗に係る減損損失として4億77百万円、その他固定資産除却損など10百万円の計上により、合計4億88百万円を特別損失として計上いたしました。

3. 連結業績予想と実績との差異について

平成28年2月期通期連結業績予想数値と実績との差異（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 78,500	百万円 △ 630	百万円 △ 560	百万円 △ 500	円 銭 △ 93.79
今回実績 (B)	78,462	△ 557	△ 452	△ 765	△ 146.11
増減額 (B-A)	△ 38	73	108	△ 265	—
増減率	△0.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年2月期)	83,898	168	371	△ 113	△ 21.13

4. 実績との差異の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね前回発表予想どおりとなりましたが、当期純利益につきましては、新星堂の吸収合併時の時価純資産の額が、前回発表予想で見込んでおりました金額より約2億円減少したことに伴い、負ののれんの額が見込みより1億47百万円減少したこと等で、予想を下回りました。

以 上